

南大沢スマートシティ協議会（第3回） 議事要旨

- 日時：令和3年3月19日（金）16時00分～17時00分
- 開催方式：WEB会議
- 出席者：委員21名、事務局

□主な意見

<協議会の方向性>

- 今年度は先進技術に関して広く調査したが、来年度は南大沢地区に有用なものに絞った議論や、南大沢の特徴である「大都市郊外のインフラが整ったニュータウン」に対するスマートシティモデルの議論が必要
また、将来的には、基礎自治体への展開のほか、海外への展開といった気概も必要
- 情報・その他部会では、コロナ禍において、南大沢が新しい価値を見出すような情報の役割を実現していくことが目標
また、他部会と目標を共有し、新しい生活スタイルを先進的に実現していくことが重要
- モビリティ部会の視点では、南大沢として共有する範囲の再考や、存在するステークホルダーとの議論も必要
- 次年度以降は、全体ビジョンの範囲で短期的に実施できる内容と、南大沢にふさわしい事業体や資金調達方法等の長期的な視点の内容について並行した議論が必要

<実施計画（案）>

- 本計画は、地域住民からの反響が大きく、現時点では住民の意見が十分に聞き取りされていないので、今後は地域住民の声を吸い上げた上で、計画の検討が必要
また、公表の際には、名称としている「実施計画」について誤解を招かない表現や、実施運営体制の内容は一例である等の表記方法について、関係者との十分な調整が必要
- 実施体制は、民間ベースでも多様な形の取組事例があり、南大沢にふさわしい形を考えていくことが重要
また、ロングスパンで大きな方向性を示し、その中で事業者や住民等の主体ごとに細分化し、実現化していくための事業や体制の議論が必要
- 中長期の実施体制は、資金を出すところが主体になるという点での検討も重要